

お知らせ

祇園大祭電飾山笠開催に伴う
芦屋タウンバス運行ルート変更

祇園大祭電飾山笠

が正門通り商店街周
辺で行われるため、
芦屋タウンバスの運
行ルートを次のとお
り変更します。

▽とき 7月13日(日)

午後7時～9時

■芦屋タウンバスルート変更

遠賀川駅前発（祇園崎経由）の
次の2便が、鶴松団地経由にな
ります。

①午後7時7分発

②午後8時10分発

※祇園崎バス停・正門通バス停の
定期券を持っている人は、右記
の2便のみ、鶴松団地バス停、
高浜町バス停、自衛隊前バス停
で降りることができます。

※浜口南バス停の定期券を持って
いる人は、浜口バス停でしか降
りられません。

祇園崎は経由しませんので注意
してください。

▽問い合わせ 地域振興・交通係

(☎223・3539)へ



クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）を設置します

熱中症による健康被害の発生を防止するため、次の施設を暑さをしのぐ場
所として利用できるクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）として開放
します。

「熱中症特別警戒アラート」が発表された時などに、積極的に利用してください。

▷開放期間 7月1日(四)～10月31日(金)



指定施設一覧

番号	施設名	住所	開館日	時間	休館日	受入可能人数
1	芦屋町役場	幸町 2番20号	月～金	8:30～17:15	土日祝	7人程度
2	町民会館	中ノ浜 11番6号	月～日	8:30～22:00	—	12人程度
3	中央公民館	中ノ浜 4番4号	火～日	8:30～22:00	月	11人程度
4	芦屋東公民館	緑ヶ丘 4番22号	火～日	8:30～22:00	月	12人程度

▷利用上の注意事項

- 指定施設が開館している日時と指定した場所のみ利用できます。
- 指定場所は主にロビーです。部屋を設ける訳ではありません。
- イベントなどの開催により、利用できない場合があります。
- 指定施設を利用する時は、施設係員の指示に従い、ほかの利用者の迷惑となる行為は行わないでください。
- 指定場所の温度調整はできません。
- 指定施設で飲み物の提供はありません。自動販売機などで購入するか持ってきてください。

▷問い合わせ 環境・公園係 (☎223・3538)

芦屋歴史紀行

その三百五十

山鹿貝塚

新人学芸員が、芦屋町の歴史を基本から探る連載第6回をお届けします。今回は山鹿貝塚を紹介し
ます。

○山鹿貝塚の発見

山鹿貝塚は、東西約100m、南北約70m、標高12mの砂丘上に位置する縄文時代の貝塚です。昭和28（1953）年に竹中岩夫氏によつて発見されました。昭和30（1955）年に、1号人骨を発見。昭和38（1963）年には、高校生が貝輪のはまった人骨前腕部を発見しました。この人骨は直ちに埋め戻され、昭和40（1965）年に再発掘（第2次調査）が行われ、2・3・4号人骨が発掘されました。その成果は、翌年日本人類学会で発表され、注目を浴びました。昭



和43（1968）年に第3次調査と第4次調査（補足調査）、平成13（2001）年に第5次調査が行われました。

これらの調査や出土した土器の分析などから、山鹿貝塚は縄文時代早期初頭から晩期にかけての、約6000年間に及ぶ遺跡であることがわかりました。

○山鹿貝塚の縄文人骨

貝塚からは、貝がらや動物の骨、壊れた土器や石器、骨角器、人骨などが見つかります。貝塚というと、「ごみ捨て場」というイメージがありますが、亡くなった人や使い終わった道具を大切にあの世へ送ると同時に、再



生を析る場所でもありました。山鹿貝塚で、これまでに出土した人骨は20体以上。葬られた時期はいずれも約3500年前と推定されます。性別が分かる出土人骨18体は、男性8人、女性7人、乳幼児3人の構成でした。

○日本一おしゃれな縄文人

発見された人骨のうち装飾品を身に付けていたのは、男性が2人、女性が7人でした。装飾品を身に付けている割合は、他遺跡の縄文人と比べて極めて高いものでした。

特に注目すべきは、日本一おしゃれな縄文人とも言われる2号人骨の女性です。2号人骨は、サメの歯のイヤリング2個、緑色大珠



1個、貝輪19個を着け、鹿の角2本を添えられた状態で葬られていました。この女性には、装飾品の多さや種類から、占い師兼女族長であったとされています。

2・3・4号人骨や出土資料は芦屋歴史の里で保存・展示しています（人骨はレプリカを展示）。また、歴史の里では毎年、2号人骨の緑色大珠にちなんだ勾玉づくり講座を行っていますので、参加してみてください。

（芦屋歴史の里）

編集後記

▼今号の表紙は、山鹿小学校浜運動会の写真です。私は生まれも育ちも芦屋町ですが、広報の取材で初めて浜運動会を見にきました。取材してみても、浜運動会が明治時代から続く伝統行事であることや、「旗表旗受領の歌」を合唱しながら行進することを知りました。6ページのまちのわだいでは、イベント写真の掲載だけでなく、イベントの内容にも少し触れていますので、読んでみてください。新たな発見があるかもしれません。（伊藤）

▼今号の健幸な町あしやのページで、熱中症の予防と対策が掲載されています。令和6年度の夏に熱中症で救急搬送された人が、全国で9万人以上もいることが書かれており、こんなにも多くの人が搬送されているのかと驚きました。実家の母を訪ねると室温が高いのに冷房も入れずにいることが多いです。ひと昔前であれば大丈夫だったのかもしれません。今では危険です。私も年を重ねると暑さを感じると感覚が鈍くなっていると思います。室内に温度計を設置して28℃を越えるようであれば冷房を入れることや、町のクーリングシールターを利用してみてはどうでしょうか。（篠塚）

